

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成28年10月13日 (2016.10.13)

【公開番号】特開2015-59676(P2015-59676A)

【公開日】平成27年3月30日 (2015.3.30)

【年通号数】公開・登録公報2015-021

【出願番号】特願2013-192377(P2013-192377)

【国際特許分類】

F 2 4 J 2/38 (2014.01)

H 0 1 L 31/042 (2014.01)

F 2 4 J 2/42 (2006.01)

【F I】

F 2 4 J 2/38

H 0 1 L 31/04 R

F 2 4 J 2/42 K

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月27日 (2016.8.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

温水タンクの下に温水パネルを設け、前記温水パネルの下に太陽光パネルを設けた一体パネルを、垂直方向へ回動する支点を土台へ設け、温水タンクまたは太陽光パネルの重みを利用してパネルを回動させ、シリンダーでパネルの回動を制御し、前記支点は、温水タンクに水が充填されたときは温水タンク側が、温水タンクが空のときは太陽光パネル側が重くなるよう支点が配置されるものであって、

温水タンクに入れた水の重みを利用し、

タイマーで電磁弁を開放することでシリンダー内のオイルが移動されてパネルが回動し、マイクロスイッチで角度を感知し電磁弁が閉じられることでパネルの回動が停止しすることを特徴とする太陽追尾発電及び温水装置。

【請求項 2】

前記温水タンクが下側へ移動後に水が排出されると、水量スイッチまたは日没時間タイマーにより電磁弁が開放され、太陽光パネルの重量によりシリンダー内のオイルが移動されてパネルが回動し、初期位置へ戻ることを特徴とする請求項 1 に記載の太陽追尾発電及び温水装置。

【請求項 3】

前記シリンダーに替えて、円筒内にバネを設け、その上にシャフトを設け、前記シャフトにラックギアとマイクロスイッチ作動用の突起部を設け、ラックギアを係止するための電磁ストッパーを設け、タイマーにより前記電磁ストッパーを開放し、前記マイクロスイッチが前記突起部で作動すると、前記電磁ストッパーがラックギアを係止することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の太陽追尾発電及び温水装置。